

域の特性に応じた収益性の高い農業構造を確立し、持続的な発展を図ること、農村については、農業の有する農産物の供給機能及び水源涵養などの多面的機能が十分に発揮されることとしている。また、基本方針については、農業経営の担い手の育成及び確保など、5つの方針を定めている。

### 農業施設の災害復旧及び補助金制度について

岩永 慎太郎 議員



農業施設等の国の災害復旧の補助要件については、工事費用が40万円以上になっているが、それに満たない小規模被害への対策に関しては、市単独事業として、助成措置を検討してはどうか。

**A** 国の災害復旧の補助対象とならなかつた被害への対策については、ただちに復旧しなければならぬ緊急性の高いものや、放置することにより被害が拡大するもの、関係者だけでの復旧が著しく困難なものを対象に、市の単独事業で対応しており、今9月議会に補正予算700万円を計上している。



### 教育・文化・スポーツ

#### 利用しづらい、大村市の奨学金制度

神近 寛 議員



大村市の奨学金制度の、特に貸与時期の早期改善を求める。高校生を例にあげると、中学生のときに奨学生願書を受け付け、審査、仮決定を行い、高校入学決定と同時に貸与できる予約奨学金制度とすべきである。また、貸与額、入学時特別増額、減免制度等や給付型奨学金も含めた総合的な見直しを要請する。

**A** 予約奨学金制度については、長崎県育英会が来年度の奨学生の募集から導入されるため、詳しい情報を入力し、本市においても、平成29年度を目的に同様の取り組みができないか、前向きに検討したい。また、奨学金制度の見直しについては、給付型奨学金制度を検討中の国や他自治体の動向を注視し、研究したい。

#### 小中学校における勤労意識の涵養について

北村 貴寿 議員



国内の人口減少が止まらない中、持続可能な自治体運営のためには、次世代が定住し働く場所が必要である。大村で働きたい、起業したいという意識を高めるためには、小中学校におけるキャリア教育の強化が必要である。愛媛県松山市においては、中小企業振興円卓会議と連携し、「未来デザインゲーム」を始めた。本市でもキャリア教育の一環として、市内経営者による講話を取り入れてはどうか。

**A** 市内経営者による講話については、現在中学校において、職業講話を行っているため、取り入れることは可能であると考える。このような機会を設けることで、教室では経験できない貴重なお話や体験を通じて、子どもたちが、より一層明確な夢を持って頑張ることができるようになりたい。

#### 大村市の奨学金制度について

小林 史政 議員



本市の貸与型奨学金は、奨学金の残高によっては給付を受けられない場合があるのか。また、現行の給付型奨学金制度は5年目を迎えるが、今まで1名の利用実績しかない。給付型ということもあり、慎重な審査になるのは分かるが、本制度をより利用しやすくするための見直しは行われたのか。

**A** 教育委員会としては、奨学金希望者で基準を満たされる方には、できる限り活用していただけるようにしたいと考えており、希望者の推移を見ながら、基金の増額も含め、市全体で協議を進めたい。また、給付型奨学金制度については、学業成績面では現状を維持し、世帯の所得基準を貸与型奨学金と同じ基準に緩和する方向で見直しを進めている。

